

中学校第1学年 美術科学習指導案

日 時 平成23年9月29日(木) 2校時

指導者 教育センター所員 田中丸 照喜

<題材の概要>

木版摺更紗着物の文様を題材として鑑賞を進める。1時間目は、文様の題材が何かということや形や色彩を基に考えることを通して、作品の味わい方を学ぶ。2時間目は、日本や諸外国の更紗の文様を比較鑑賞し、その特徴を捉える。さらに、木版摺更紗着物の鑑賞を深め、特徴や季節感の表現、美しさに気付く。

1 題材名 木版摺更紗着物を鑑賞しよう

2 題材設定の理由

(1) 題材観

平成20年3月に示された中学校学習指導要領では、美術科の目標に美術文化についての理解を深めることが新たに加えられた。これについて平成20年1月の中央教育審議会の答申においては、改善の基本方針の一つとして、「美術文化の継承と創造への関心を高めるために、作品などのよさや美しさを主体的に味わう活動や、我が国の美術や文化に関する指導を一層充実する。」が示された。このことから、鑑賞においては日本の美術についての学習を重視するとともに、第1学年では美術文化に対する関心を高める学習が新たに示され、3年間で系統的に美術文化に関する学習を充実させていくことが求められるようになった。

鑑賞の対象としては、日本の美術についての学習を重視することを踏まえ、郷土の作家による作品を題材として取り上げることで、そのよさや美しさを身近に感じることができるのではないかと考えた。木版摺更紗着物は、平成20年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けた佐賀県鹿島市在住の鈴田滋人氏が手掛ける、鍋島更紗を起源とした伝統工芸品である。木版による版打ちと型紙による色摺りを併用した技法によって生み出される作品は、文様の形と色彩により構成され、洗練された美しさをもっている。また、文様は郷土の自然を題材にしたもので、形と色彩、そしてそれらを構成した全体像の美しさは、自然の美しさや季節を感じさせる日本の美術文化のすばらしさを実感させるのに適した題材だと考えた。

(2) 生徒観

本学級の生徒を対象に実施した意識調査では、美術作品を制作するのが好きと回答した生徒が76%(とても好き33%, 少し好き43%)に対して、美術作品を鑑賞するのが好きと回答した生徒が90%(とても好き33%, 少し好き57%)であった。制作に苦手意識があっても鑑賞は好きだと思っている生徒がおり、美術を愛好する心情を育てるという視点からも、鑑賞の充実を図っていかねばならないと考えた。

世界の美術作品に興味があると回答した生徒が70%(とてもある20%, 少しある50%), 日本の美術作品に興味があると回答した生徒が63%(とてもある13%, 少しある50%), 佐賀県の伝統工芸品に興味があると回答した生徒が54%(とてもある7%, 少しある47%)と、身近なものになるほど数値が低くなるという結果であった。これは、距離的には近くても、日頃見たり触れたりする機会が

少ないことが原因ではないかと考える。このことから、佐賀県や学校周辺の地域の美術作品等を題材とした鑑賞を充実させ、美術作品を身近に感じさせる必要があると考えた。

(3) 指導観

中学校学習指導要領解説美術編では、「第1学年では、特に複数の作品を鑑賞する中で、共通して見られる表現の特性や美意識、価値観などに気付かせ、美術文化や伝統に対する関心を高めることに重点を置いている。」と示されている。そのため、木版摺更紗着物の鑑賞を中心にしながらも、その他の日本や諸外国の更紗も取り上げながら、より木版摺更紗着物のよさや美しさが感じられるようにする。

「表現」及び「鑑賞」の学習において共通に必要な資質や能力を整理した〔共通事項〕も、今回の改訂で新たに加えられたものである。〔共通事項〕の指導項目である「形や色彩、材料や、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。」は、作品などのよさや美しさを主体的に味わうために不可欠な要素であるので、文様の題材が何かということや形や色彩を基に考える過程で、形から受ける印象や日本の伝統色に関する指導をすることが必要になってくる。

日本や諸外国の更紗の文様を比較する過程では、共通点や相違点を捉えやすくするために、視点を示し比較鑑賞させ、そこから特徴をつかませるようにする。さらに、木版摺更紗着物の特徴を明確にし、その中に息づく自然の美しさや季節感を感じ取らせるよう指導する。

木版摺更紗着物の実物を見せることができないため、パワーポイントや印刷物を活用して鑑賞させていくことになる。そのため、木版摺更紗着物ではないが着物の実物や端布などを準備し、着物の大きさや形、質感などを感じられるようにする。

3 題材の目標

- 更紗の文様に関心をもち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとする。
【美術への関心・意欲・態度】
- 更紗の文様の形や色彩などから、その特徴や美しさを感じ取る。
【鑑賞の能力】
- 日本や諸外国の更紗の文様を比較することで、木版摺更紗着物の特徴や季節感の表現に気付く。
【鑑賞の能力】

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・更紗の文様に関心をもち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとしている。	・更紗の文様の形や色彩などから、その特徴や美しさを感じ取っている。 ・日本や諸外国の更紗の文様を比較することで、木版摺更紗着物の特徴や季節感の表現に気付いている。

5 題材の指導計画と評価規準（全2時間）

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価の視点と方法
1 時間目	<p>1 日本や諸外国の民族衣装を比較する。</p> <p>2 木版摺更紗着物を鑑賞し、印象や気付きなどを考える。</p> <p>3 木版摺更紗着物の文様がどのような方法で描かれているか考える。</p> <p>4 木版摺更紗着物の文様が、自然を題材に形や色彩を工夫して図案化されていることに気付く。</p> <p>5 まとめをする。</p>	<p>○木版摺更紗着物の全体像の画像をパワーポイントで見せる。</p> <p>○木版摺更紗着物の全体像と文様の拡大画像をパワーポイントで見せる。</p> <p>○木版摺更紗着物の文様がどのようにして染色されているかと、作者の文様作成における思いを、制作過程の画像をパワーポイントで見せながら解説する。</p> <p>○木版摺更紗着物の文様の拡大図の画像をパワーポイントで見せる。</p> <p>○文様の中から気になる形を探し出させ、その形が何を表しているのかを考えさせる。</p> <p>○日本の伝統色に関する資料を参考にさせ、その色が何を表しているのかを考えさせる。</p> <p>○スケッチや言葉による記述を併用しながら、自分の考えをワークシートに書かせる。</p> <p>○全体で発表をさせ、考えや気付きを板書する。</p> <p>○どの形や色彩からそう考えたのか根拠を説明させる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">美術への関心・意欲・態度</div> <p>木版摺更紗着物の文様に関心を持ち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとしている。 (活動の様子、発言内容)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">鑑賞の能力</div> <p>木版摺更紗着物の文様の形や色彩などから、その特徴や美しさを感じ取っている。 (ワークシート、発言内容)</p>

2 時間目 (本時)	1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。	○日本や諸外国の文様を、題材や形、色彩を比較しながら鑑賞していくことを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">美術への関心・意欲・態度</div> <p>日本と諸外国の文様に関心をもち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとしている。</p> <p>(活動の様子、発言内容)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">鑑賞の能力</div> <p>日本と諸外国の更紗の文様を比較することで、木版摺更紗着物の特徴や季節の表現に気付いている。</p> <p>(ワークシート、発言内容)</p>
	2 日本と諸外国の文様を鑑賞し、どのような特徴があるかを知る。	○文様のカードを使い、質問ごとにグループで話し合い、分類させる。 ○更紗の起源と伝播、文様の題材の特徴についてパワーポイントで解説する。	
	3 木版摺更紗着物とイギリス更紗の文様を比較鑑賞し、表現の違いに気付く。	○題材や形、色彩、季節感に注目させ、気付いたことをワークシートに書かせる。 ○グループごとに気付いたことをまとめさせ、代表者に発表させる。 ○なぜそう考えたのか根拠を説明させる。	
	4 木版摺更紗着物の鑑賞を深め、特徴や季節感の表現に気付く。	○木版摺更紗着物の全体像と、文様の拡大図、題材の画像をパワーポイントで見せる。 ○考えや気付きなどをワークシートに書かせる。 ○木版摺更紗着物のよさについての考えを共有させる。	

6 本時の指導 (2 / 2時間)

(1) 本時の目標

日本や諸外国の更紗の文様に関心をもち、それぞれの更紗の文様を比較することで、木版摺更紗着物の特徴や季節感の表現に気付く。

(2) 本時の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・日本や諸外国の更紗の文様に関心をもち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとしている。	・日本や諸外国の更紗の文様を比較することで、木版摺更紗着物の特徴や季節感の表現に気付いている。

(3) 本時の指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援
導入	<p>1 前時を振り返り，本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パワーポイントで文様の画像を見せ，何が題材かを考えさせる。 ○ 日本や諸外国の文様を，題材や形，色彩を比較しながら鑑賞していくことを確認する。
展開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">日本や諸外国の文様の特徴を知ろう</p> <p>2 日本や諸外国の文様を鑑賞し，どのような特徴があるかを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文様のカードを使い，質問ごとにグループで話し合い，分類させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 題材が人物や動物 ・ 題材が植物 ○ 更紗の起源と伝播，文様の題材の特徴についてパワーポイントで解説する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【美術への関心・意欲・態度】 日本や諸外国の更紗の文様に関心を持ち，主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとしているかを評価する。グループでの話し合いの様子を観察して，話し合いに参加していない生徒にはグループにも声掛けをして活動を促す。 (活動の様子，発言内容)</p> </div>
まとめ	<p>3 木版摺更紗着物とイギリス更紗の文様を比較鑑賞し，表現の違いに気付く。</p> <p>4 木版摺更紗着物の鑑賞を深め，特徴や季節感の表現に気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材や季節感に注目させ，気付いたことをワークシート②の間1に書かせる。 ○ グループごとに気付いたことをまとめさせ，発表させる。 ○ なぜそう考えたか根拠を説明させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 木版摺更紗着物の全体像と，文様の拡大図，題材の画像をパワーポイントで見せる。 ○ 考えや気付きなどをワークシート②の間2に書かせる。 ○ 木版摺更紗着物のよさについての考えを共有させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【鑑賞の能力】 日本や諸外国の更紗の文様を比較することで，木版摺更紗着物の特徴や季節感の表現に気付いているかを評価する。ワークシートに記述がない生徒を見取り，グループや全体で意見を聞き，分かったことを記述させる。 (ワークシート，発言内容)</p> </div>